



1月17日（土）、「特別講演会」が群馬県社会福祉総合センター8階ホールにて開催されました。折茂会長による「地域医療再生基金事業の報告」、松沢副会長による「養護老人ホームについて」、そして山田剛先生による特別講演「介護支援専門員の身近な課題」でした。今号1、2面でその報告をさせていただきます。

特 別 講 演

介護支援専門員の身近な課題

～医療との連携及び相談援助技術～

三重県医療ソーシャルワーカー協会 会長 山田 剛 先生



特別講演「介護支援専門員の身近な課題～医療との連携及び相談援助技術～」を受講致しました。講師は山田剛先生、三重県医療ソーシャルワーカー協会会長で介護老人保健施設みえ川村老健施設長・支援相談員でいらっしゃるということで、大変考え深い内容でした。

医療ソーシャルワーカーは、医療連携で必要不可欠な人です。まずは医療ソーシャルワーカーの方の主な相談内容についての説明がありました。対象者は高齢者だけではなく若年のがん患者や小児、新生児等も対象でハードな仕事で離職者も多いなどの現状を知ることができました。

相談援助技術については傾聴、共感、利用者の方の理解等専門的な技術が必要です。介護支援専門員は『できる』『できない』をチェックするだけで、はたして専門的な技術に裏付けられたことができている人はどれほどなのか」との指摘もあり、改めて基本的技術を身に付けて行く必要性を学びました。

居宅介護支援事業所あらとがわ 加藤 夏美

地域医療再生基金事業の中間報告

■■■■■■■■■■ 会長 折茂 賢一郎

平成25年度から27年度までの補助事業として当協会が主体となった本事業についての中間報告を行いました。本事業は次の5点を狙っての大きな特徴があると思っています。

1. 自宅・施設・居宅系事業所・医療機関のどこに利用者が移動しても利用できるか
2. 多様な事業所・多職種のシームレスな連携に資するものか
3. 共通言語として「ICF Staging」が有用か
4. 「ICF Staging」を利用することによって自立支援型ケアプランに寄与できるか
5. 家族または利用者本人と各種事業所の双方向のアセスメントが可能か

詳細については本事業のHPを参照願います。ケアマネ群馬HPからリンクされています。今年度は参加事業所に対するアンケートを行うとともに、平成27度は群馬県医師会と西吾妻地域にて実施している事業との合体を目指していますが、事業計画終了後も「群馬県介護支援専門員協会発進のシームレス連携のモデル」として全国で活用していただけることを夢見ているところです。



協会講演「養護老人ホームについて」

■■■■■■■■■■ 副会長 松沢 斉

介護現場において全てが契約でサービスが提供されている中で、唯一、行政命令による措置という養護老人ホームについて、行政が施行するもので、ケアマネジャーが関わっていくものではないと考えていた。敷居が高く、相談しにくいと思っていたからである。

しかし、今回の講演を聞き、有料老人ホーム・サ高住・ケアハウス・軽費老人ホームと同様に選択肢の一つとして十分に活用できる社会資源であることが理解でき、相談をしても良いものであることが分かった。

受刑後の高齢者や行き場のない、また身内がいない高齢者を養護していくといった社会的責任を請け負っており、今後増々、多岐にわたる必要性が出てくるのではないかと感じることができた。

社会福祉法人 希望館居宅介護支援事業所 鈴木 浩



日本介護支援専門員協会北関東ブロック会議報告

平成26年12月13日（土）北関東ブロック会議が開催されました。この会議は日本介護支援専門員協会の都道府県支部を地域別に分けており、本県は栃木県、茨城県の3県で北関東ブロックに所属しています。毎年、各県持ち回りで開催され、今年度は茨城県水戸市内で開催されました。

会議の内容は、各県の介護支援専門員の職能団体としての取り組みや、課題、日本介護支援専門員協会からの制度改正などの最新情報、今後の連携方法など様々な角度から情報交換が行われました。会議には日本介護支援専門員協会会長も出席し、各都道府県支部との連携のあり方や職能団体としての会の一本化の必要性など意見交換を行いました。

会議後は、北関東3県の親睦を図ることを目的に交流会なども行われ、参加した多くの方と各地域の取り組みや課題など多岐にわたり情報交換を行いました。また、茨城県ケアマネジャー協会の皆様による余興なども披露していただき、楽しめる雰囲気の中で、北関東の介護支援専門員同士の親睦を図ることができました。平成27年度は栃木県内で開催される予定となっています。

日本介護支援専門員協会 群馬県支部代議員 須田 和也



日本介護支援専門員協会北関東ブロック研修大会 in いばらき 「あとがない！認知症支援～どこまでできるケアマネジメント～」

平成26年12月14日（日）水戸は寒風が吹きすさんでいましたが、会場となった水戸駅ビルは、多くの介護支援専門員の熱気に包まれていました。

筑波大学教授朝田隆先生の講演では、認知症ケアのポイントの1つは、生活障害への対応にある。（生活障害とは布団が敷けない、寝る向きが分からないなど。特にキャップなどを回すという動作が困難なことが多い。）

生活障害への対応は、介護技術的な要素も多いが、基本対応は仕切直すこと、間をおくこと。そうすることで利用者は、混乱や苛立ちを忘れることができる。「してあげる」のではなく、どうすれば利用者本人のパフォーマンスを引き出せるか、そういった視点が認知症ケアには大切であるとのこと。そのほか、パネルディスカッションなど認知症ケアに関する現状や課題について考察を深めることができました。

特別養護老人ホームふれあいホーム 井澤 清貴



ケアマネジメント群馬フォーラムⅫ

準備状況報告

実行委員長 小沼 説雄

会員の皆様お世話になります。「ケアマネジメント群馬フォーラムⅫ」の準備状況の報告です。実行委員会の会議も本原稿出稿段階（平成27年1月下旬）ですすでに第4回を数え、毎月準備の為に会議を行っております。今大会は平成27年度より実施される地域包括ケアシステムを中心テーマとし、「皆で築こう地域包括ケアシステム」～ケアマネは何をすべきか～が大会テーマに決まりました。

開催日は6月21日（日）、開催場所は伊香保温泉ホテル天坊です。本大会を中心となり活動するブロックは東毛ブロックですが、会場のキャパシティーや実行委員の当日の準備負担、前回大会の参加利用者の好評さ等から昨年と同一会場といたしました。

内容については午前の部は地域包括ケアシステムの概要を把握する目的で群馬県の行政説明と国の先駆的事业「地域包括ケアシステム構築へ向けた取組事例」として知られる柏市で医師会理事を務められ、医療法人社団双樹会 古田医院々長 古田達之先生をお招きしご講演をお願いしております。又午後はケアマネジャーをはじめとして介護保険に関わる方々、それぞれの疑問や今後の方向性を少しでも明解・明確にするべく二段階の参加型を取り入れた研修を企画しております。詳細については現在鋭意検討中です。新年度から始まる「地域包括ケアシステム」について「解らない事が多くて」とお嘆きのあなた、私もその一人です。ご一緒に学び、今後の活動の糧にされては如何でしょうか。



「理事会・各委員会の報告」

理事会

会長 折茂 賢一郎

第8回理事会を1月17日（土）に開催しました。3つの常設委員会の報告の他に、選挙管理委員会設置のための特別委員会報告が須田理事からあり、6名の選挙管理委員の名簿などが承認されました。今年度で現役員の任期が切れるため、3月の総会において新役員の選挙が選挙管理委員会という中立的な組織下に初めて行われるものです。是非とも3月28日（土）の総会には多数の出席をお願いしたいと思っています。

総務財政委員会

総務財政委員長 松沢 斉

平成26年度も残すところわずかとなりました。最後の大一番は3月28日（土）に開かれる臨時総会です。役員改選の年で理事・監事の選挙も予定されています。また、介護報酬改定前夜ということで、県の担当課の方から詳細な解説を聞く予定も組まれています。

総会を開くたびに「定足数」を満たすことができるかハラハラしております。これを読んだ会員の皆様、「当日の出席」をぜひとも、それが叶わなければ「委任状」をお早めに！

何卒よろしくお願い申し上げます。

ちなみに、平成27年度の定時総会は5月30日（土）を予定しております。こちらのご出席（やむを得ず欠席の場合は「委任状の提出」）もよろしくお願い致します。

学術研修委員会

学術研修委員長 安藤 繁

皆さまも同じことと思いますが、当委員会も新年度のことで頭がいっぱいです。「激変の2015年」にどのように対応していけばよいのか、委員の間で意見を交わしています。

文字で皆さまにお願いをすることは初めてですが、勉強会や研修会、ディスカッションや講演会についての要望をお教えいただければ幸いです。事務局あてにメールかファックスでお願いします。

広報情報委員会

広報情報委員長 藤田 東洋子

1月9日（金）に第5回広報情報委員会を開催しました。会報89号の反省を行い90号の紙面の検討を致しました。平成27年4月より法改正もあり皆様も気になっているところだと思われそうですが県より情報が入り次第広報誌でもお届けできるようにしたいと思っております。又、協会のホームページも皆様ご覧になっていますか、是非一度はご覧になってください。皆様のお役に立てるような情報がお届けできるように委員会として活動したいと考えております。

富岡甘楽支部

1月27日（火）に、富岡市の協賛により、群馬大学大学院保健研究科准教授の内田陽子先生をお招きして第3回研修会を開催しました。地域包括ケアをより実践的に取り組む連携促進に向けた研修です。介護支援専門員の他、通所介護事業所、訪問介護事業所からの参加があり多職種での研修となりました。

介護支援専門員との連携経験からの良し悪し、続いてデイサービス、ヘルパーとKJ法を用いて意見交換し、心の内をさらけ出したところで包括ケアを推進するシステムづくりへと話しは深まります。あらゆる職種が定期的集い、顔が見える関係づくりが重要。地域の中でネットワークの核となるよう、今後も多職種とのやりとりを円滑にしたいものです。

（公立七日市病院 佐俣 雅和）



多野藤岡支部

12月18日（木）藤岡市みかぼみらい館で、群馬県認知症疾患センター篠塚病院との共催による症例検討会が開催されました（参加者55名）。研修では篠塚病院相原優子先生と、藤岡市国民健康保険鬼石病院工藤道明先生によるご講演を頂きました。

相原先生より、正常圧水頭症の神経症状として認知症、尿失禁をきたし、小刻み歩行によって転倒しやすいこと。シャント術により症状が改善することを学びました。工藤先生からはPEG（経皮内視鏡的胃瘻造設術）について、胃瘻を造りながらも積極的に栄養管理に取り組んでおり、ケアマネジャーとして医療的知識を得られる研修会となりました。

今後は介護保険の改正と地域包括ケアシステムの構築により、利用者にとどのような影響が出るのか考察していきたいと思います。

（くすの木病院居宅介護支援事業所 長井 亜紀子）



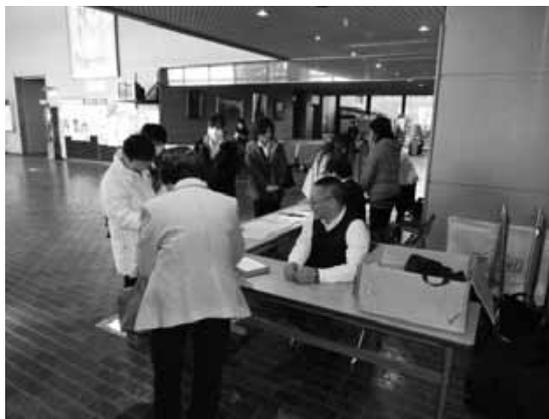
渋川支部

2月6日（金）渋川圏域のケアマネジャーとサービス事業所の交流会が開かれました。回を重ねるごとに参加人数が増えています。今年はなんと80名の参加でたくさんの交流の輪ができていました。毎年この時期に同じ場所で行っているため、いつも参加して下さるみなさんは、場所を間違えることなくこの寒い時期に集まってくれています。ちょうど介護報酬改定の単位数が発表になった日でもあり、今後の不安なども話し合われ賑やかな会合となりました。



（在宅介護支援センターしづかわ 高橋 敬子）

太田支部



1月24日（土）太田市社会教育総合センターに於いて 緩和ケア診療所の萬田緑平先生に「最期まで目一杯生きる」と題してご講演をいただきました。今回は、ケアマネジャーだけでなく、一般市民の方々にも是非聴いていただきたいと考え、太田市の後援で「公開講座」として開催されました。

私は、ケアマネジャー（看護師）と最近家族を看取った者として両方の立場で聴講させていただきました。一番心に残ったことは、「本人の最後の願いを叶える。人生の最終章のシナリオは自分で書く」ということでした。「本人の意思を尊重した看取り」であれば本人だけでなく残された家族も満足できるのだということです。

このような看取りをするためには、家族をはじめ、医療従事者やケアマネジャー等の関係者がしっかりとチーム作りが必要だと思います。また、さらに多くの方々にもこのような看取りの選択肢があることを知って頂きたいと思いました。直ぐに実践に移すことは難しいと思いますが、今後のケアマネジメントに生かせる下地作りを日頃から行っていききたいと思います。

（居宅介護支援事業所りべらんす 茂木 理恵）

賛助会員事業所様ご紹介（順不同）

名 称	〒	住 所	電話番号
株式会社 ベルシャイン	379-2214	伊勢崎市下触町 803 番地 1	0270-62-8189
社会福祉法人 榛東村社会福祉協議会	370-3503	北群馬郡榛東村新井 507-3	0279-55-5294
医療法人関越中央病院 地域ケアセンター ケアマネージステーション	370-3513	高崎市北原 29	027-373-4088
社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会	376-0051	桐生市新宿 3-3-19	0277-46-4165
一般社団法人 群馬県歯科医師会	371-0847	前橋市大友町 1-5-17	027-252-0391
介護老人保健施設 群馬老人保健センター 陽光苑	371-0848	前橋市大友町 3-26-8	027-253-3310
高崎市在宅介護支援センター ホピ園	370-0865	高崎市寺尾町 621-1	027-324-8844
株式会社 廣川書店	370-0828	高崎市宮元町 46	027-322-4804
株式会社 フィジカルケアサービス	370-0002	高崎市日高町 437-2	027-370-2727
日本こども福祉医療専門学校	950-2121	新潟県新潟市西区榎尾 1425 番地	025-261-0346
株式会社フレアス フレアス在宅マッサージ	370-0073	高崎市緑町 2-14-4 Msビル 102号	027-370-6775
社会福祉法人 希望館 居宅介護支援事業所	370-0046	高崎市江木町 1093-1	027-322-4985
社会福祉法人 柏 訪問介護たかつど	376-0113	みどり市大間々町高津戸 998	0277-73-2003
株式会社 アスカ	370-0006	高崎市問屋町 2-7-8	027-364-1817
株式会社 エムダブルエス日高	370-0002	高崎市日高町 349	027-362-0691
関越中央病院 介護・福祉村 北原の里 ケアマネージステーション「北原の里」	370-3513	高崎市北原町 179-1	027-384-4611
株式会社 アイリーライフ	372-0812	伊勢崎市連取町 1531-4 多賀谷事務所	0270-27-5663
フィリップスレスピロニクス合同会社 前橋営業所	371-0014	前橋市朝日町 3-27-6	027-226-7651
東洋ケアサービス株式会社	370-3602	北群馬郡吉岡町大久保 582	0279-30-5205
パナケア真中株式会社	370-3531	高崎市足門町 150-1	027-373-5095
公益社団法人地域医療振興協会 六合温泉医療センター	377-1701	吾妻郡中之条町入山 1478-5	0279-95-5711
株式会社 ナカムラ	378-0051	沼田市上原町 1694-1	0278-24-1533
藤田ソリューションパートナーズ株式会社	370-0069	高崎市飯塚町 1174 番地 5	027-361-7111
特別養護老人ホーム 清流の郷	379-1104	渋川市赤城町敷島 44-1	0279-56-9201
ソネット株式会社	371-0847	前橋市大友町 2-6-1	027-251-4165
ホテル天坊	377-0102	渋川市伊香保町伊香保 396 番地 2	0279-72-4489

～目頃のご支援ご協力、ありがとうございます～

編 集 後 記

桃の節句に供える菱餅。下から順番に緑、白、ピンクと重なっています。色の意味には諸説あるようですが、緑は若草、白は残雪、ピンクは桃の花。「雪がとけて大地に草が芽生え、桃の花が咲く。」という春の訪れを意味しているそうです。(い)